

## 社団法人 日本雪氷学会北海道支部規約

### (名称)

第1条 本支部は、社団法人日本雪氷学会北海道支部と称する。ただし略称を北海道支部とする。

### (目的)

第2条 本支部は、社団法人日本雪氷学会定款第4条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

1. 雪氷および寒冷に関する学術調査・研究その他関連事項
2. 雪氷および寒冷に関する研究会、講演会、座談会、見学会等の開催
3. 会員相互の連絡
4. 本部理事会が委嘱又は承認した事項
5. その他必要な事業

### (会員)

第3条 本支部の会員は、北海道に在住する社団法人日本雪氷学会の会員とする。また、他支部に所属する会員であっても、本支部に所属することを希望する場合は、重複所属することを妨げない。

### (役員)

第4条 本支部につきの役員を置く。

- |      |                          |
|------|--------------------------|
| 支部理事 | 20名以内（うち、支部長1名、副支部長 若干名） |
| 支部監事 | 2名                       |
| 支部幹事 | 20名以内                    |

### (役員選出)

第5条 支部の理事・監事は、支部総会において、支部会員の中から選任する。

### (支部長および副支部長の選出)

第6条 支部長および副支部長は、支部理事の互選とする。

### (幹事および幹事長の選出)

第7条 幹事および幹事長は、支部会員の中から支部長が委嘱する。

### (理事の職務)

第8条 支部長は、本支部を代表し、その会務を総理する。

- 2 副支部長は、支部長に事故あるとき、または欠けたとき、あらかじめ支部長が指名した順序でその職務を代行する。
- 3 支部理事は、支部理事会を組織し重要な事項を決議する。

### (監事の職務)

第9条 支部監事は、支部の事業、会計を監査する。

### (幹事の職務)

第10条 支部幹事は、支部の会務を処理する。

### (理事会)

第11条 支部理事会は、支部理事で構成され、重要な事項を議決する。

- 2 支部理事会の議長は支部長とする。
- 3 支部理事会は、支部理事の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

### (幹事会)

第12条 支部幹事会は、支部幹事で構成され、支部長の命を受けて支部事業の企画および会計ならびにその他の会務を処理する。

### (役員任期)

第13条 役員任期は2年とする。再任を妨げない。

### (顧問、評議員)

第14条 本支部に顧問および評議員を置くことができる。

- 2 顧問および評議員は、支部理事会の議決を経て支部長が委嘱する。
- 3 顧問および評議員は、本支部の発展に寄与するため、支部長の諮問に応じて意見を具申する他、随時建設的提案を行う。
- 4 第13条は、顧問、評議員について準用する。

(総会)

第15条 本支部は、毎年1回、通常総会を開くほか、必要に応じ臨時総会を開く。

2 総会においては、下記の事項の承認を受けなければならない。

1. 支部役員
2. 事業計画および収支予算
3. 事業報告および収支決算
4. 財産目録および貸借対照表
5. 重要なる財産の処分
6. 支部規約の変更
7. その他支部理事会において必要と認めた事項

(資産および会計)

第16条 本支部の財産は次のとおりとし、支部長がこれを管理する。

1. 本部からの交付金
  2. 寄付金
  3. その他
- 2 本支部の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

付則 本規約は昭和34年5月18日より施行する。  
本規約は昭和53年6月 8日に改正する。  
本規約は平成 6年6月15日に改正する。

北海道支部地域講演会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご参加下さい。なお、講演題目、講演者等の詳細は、変更の可能性があります。正式プログラムは、ニューズレターNo. 5にて、お知らせ致します。

## 平成 10 年度日本雪氷学会北海道支部地域講演会プログラム（仮）

### 「21 世紀における北海道の生活と雪」

#### —雪や寒冷気候を自然エネルギーとして利用した食料の備蓄—

日 時：平成 10 年 11 月 12 日（木） 15 時～18 時

場 所：北海道大学学術交流会館 小講堂

札幌市北区北 8 条西 5 丁目（北大正門西側、案内所隣）

地下鉄さっぽろ駅より徒歩約 8 分

参加費：無料

総合司会 林 勝朗（北海道立寒地住宅都市研究所）  
支部長挨拶 前野 紀一（北海道大学低温科学研究所）

#### 第 1 部

##### 基 調 講 演

新聞記者の見た利雪社会

相原 秀起（北海道新聞社岩見沢総局）

夏の雪 —あり余る冷熱資源—

媚山 政良（室蘭工業大学機械システム工学科）

農業に雪を —雪も仲間の農業現場への展望—

谷口 健雄（北海道立中央農業試験場）

雪と暮らす —雪と共存した社会への展望—

苫米地 司（北海道工業大学建築工学科）

##### コ メ ン ト

（題目未定）

石田 秀樹（東海大学芸術工学建築学科）

（題目未定）

原文宏（北海道開発技術センター）

#### 第 2 部 パネルディスカッション

コーディネーター：石田 哲（北海道総合企画部政策室参事）

パネラー：相原 秀起、媚山 政良、谷口 建雄、石田 秀樹

主催：日本雪氷学会北海道支部

後援：\*日本農業気象学会北海道支部、\*日本気象学会北海道支部、\*日本建築学会北海道支部、\*日本土木学会北海道支部、北海道経済部資源エネルギー課、北海道立寒地住宅都市研究所、沼田町、北海道新聞社（\*：交渉中）

実行委員：前野 紀一（北大低温科学研究所）、林 勝朗（寒地住宅都市研究所）、苫米地 司（北海道工業大学）、原文宏（北海道開発技術センター）、遠藤 辰雄（北大低温科学研究所）、海老沼 孝郎（北海道工業技術研究所）、尾関 俊浩（北大工学部）

北海道の雪氷 No.17

ISSN-1340-7368

1998年8月21日発行

発行 日本雪氷学会北海道支部

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目

北海道大学低温科学研究所内